



JR東労組 八王子

HACHIOJI



ホームページ

発行責任者
執行委員長 針谷 歩

2022/9/9 №14

8月31日 青梅線青梅～奥多摩間の安全安定

輸送確保に向けた緊急申し入れ開催！！その②

東労組

会社

【申し入れ内容】

1. 青梅線沿線の草木を早急に伐採し、安全確保に努めること。

【交渉での主な議論】

- ・把握している危険木の伐採が何割程度終わっているのか概要を示し労使の共通認識としたい。

【申し入れ内容】

2. 現在の危険木や近接木、近接竹の現状を明らかにし、乗務員申告等で運転保安上対処を要する情報を得た際は、直轄、外注を問わず速やかに対処すること。そのうえで、各系統の伐採区分の明確化を図り、臨機応変に伐採出来る仕組みを構築すること。

【交渉での主な議論】

- ・台帳はどのようなしくみで管理されているのかわからないというのが職場の現実。社員まで浸透していない。活用方法の整理が必要ではないか？

- ・各技術センターの着眼点がちがうので沿線木がメインとなるかというところではないのでなかなか台帳が機能していかないのではないか。問題意識がある。

- ・支障した木は台帳に載っていなかった木であることは明らか。台帳で管理し把握しているから大丈夫ではないということを確認せざる負えない。台帳も改善する余地があり、よりいいものにしていくべきではないのか？

【回答】

1. 沿線樹木の伐採については、調査、検査、巡回などにより近接木を抽出し、台帳に整理した上で、優先順位をつけて計画的に伐採を行い、安全確保に努めている。

【交渉での主な議論】

- ・具体的には把握していないが、次回の沿線木会議までには提示していく。

【回答】

2. 近接木台帳により、各担当技術センターで沿線の支障樹木を把握・管理している。また、乗務員申告等があった際は、関係個所と情報を共有し、担当技術センターおよび即応可能な技術センターが対応している。

【交渉での主な議論】

- ・台帳を管理されているか各箇所実態を確認していく。

- ・台帳は土木技セに伐採するためであるため、ちょっとした木がぶつかるような箇所は台帳に載らない。載せて下さいという話でもない。当たる前やあとで伐採するなどして対応。台帳があまいから安定輸送に引き起こしているわけではない。

- ・台帳をよりよくすることがあれば目指したいが、各系統土技セに切っほしい箇所の台帳であるため、安全にかかわるものを優先順位を決めてやっている。竹が台帳に入っていないから対応が遅れたというものでない。